

みずほマーケット・トピック(2023 年 7 月 14 日)

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は、米6月消費者物価指数(CPI)の軟化などを受け、米金利動向に合わせ下落した。週初10日、142.18円でオープンしたドル/円は、ドル買い相場の中、一時143円ちょうどに上昇。海外時間は、米金利が低下する流れに141円前半に反落した。11日、ドル/円は日銀の政策修正に対する警戒感から円が買われ、140円台後半に続落。海外時間は、翌日の米6月CPIの結果を待つ展開となり、米インフレ鈍化を期待したドル売り相場の中、140円台前半にじり安推移した。12日、ドル/円は米金利低下を受け140円を割り込む展開。海外時間は、米6月CPIが総合・コアベースともに市場予想を下回ると、米金利動向につられ138円台前半まで下押した。13日、ドル/円は日本株の堅調推移を受け138円台後半に上昇。海外時間は、米新規失業保険申請件数の強い結果を受け139円を目指す場面もあったが、米6月生産者物価指数(PPI)の弱い結果に米金利は低下、約2か月ぶりの安値となる137.93円に反落した。本日のドル/円は、引き続き週安値を更新しながらの取引となっている。
- 今週のユーロ/ドルは、米物価指標の鈍化に合わせ急伸、年初来高値を更新した。週初10日、1.0968でオープンしたユーロ/ドルは、ユーロ圏7月センチックス投資家信頼感の弱い結果を受け1.09台前半に下落も、ナール・独連銀総裁のタカ派な発言を背景に独金利は上昇、1.10台に反転上昇した。11日、ユーロ/ドルは、独7月ZEW景気期待指数の軟調な結果で1.09台後半に下落も、その後独金利が上昇に転じ1.10台を回復した。12日、ユーロ/ドルは米6月CPIの軟化を背景に米金利は大きく低下、22年3月末以来で初めて1.11台に乗せる展開となった。13日、ユーロ/ドルはECB政策理事会議事要旨(6月会合分)のタカ派な内容や米6月PPIの軟調な結果を受け、米独金利差が縮小する流れに合わせ、22年3月初旬以来の高値となる1.1228に続伸した。本日のユーロ/ドルは、引き続き週高値を更新しながらの取引となっている。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週				
		7/7(Fri)	7/10(Mon)	7/11(Tue)	7/12(Wed)	7/13(Thu)	
ドル/円	東京9:00	143.97	142.18	141.31	140.10	138.33	
	High	144.20	143.00	141.45	140.33	138.95	
	Low	142.07	141.28	140.18	138.17	137.93	
	NY 17:00	142.22	141.32	140.38	138.51	138.06	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.0891	1.0968	1.1006	1.1014	1.1141	
	High	1.0973	1.1001	1.1027	1.1141	1.1228	
	Low	1.0867	1.0944	1.0977	1.1008	1.1129	
	NY 17:00	1.0969	1.1001	1.1010	1.1125	1.1227	
ユーロ/円	東京9:00	156.78	156.10	155.53	154.34	154.12	
	High	156.92	156.65	155.65	154.50	155.12	
	Low	155.40	155.33	154.20	153.42	153.93	
	NY 17:00	155.82	155.45	154.46	154.23	154.97	
日経平均株価		32,388.42	32,189.73	32,203.57	31,943.93	32,419.33	
TOPIX		2,254.90	2,243.33	2,236.40	2,221.48	2,242.99	
NYダウ工業株30種平均		33,734.88	33,944.40	34,261.42	34,347.43	34,395.14	
NASDAQ		13,660.72	13,685.48	13,760.70	13,918.96	14,138.57	
日本10年債		0.44%	0.46%	0.45%	0.47%	0.47%	
米国10年債		4.06%	4.00%	3.98%	3.86%	3.77%	
原油価格(WTI)		73.86	72.99	74.83	75.75	76.89	
金(NY)		1,932.50	1,931.00	1,937.10	1,961.70	1,963.80	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、18日(火)に6月小売売上高が公表予定となっている。前回5月は、+0.3%(前月比、以下同様)と、4月の+0.4%からは鈍化も、市場予想の▲0.2%を大きく上回る結果となった。ガソリンと自動車を除いたコアベースでも+0.4%と市場予想の+0.2%を上回った。小売売上高の金額は名目金額であり、インフレの影響も受けていることには留意が必要だが、域内の財消費に大きな変動はなく、消費は未だに底堅く推移していると言える。個人消費がGDPの約3分の2を占める米経済だけに、4～6月期にかけても比較的堅調な成長率を維持した公算が大きい。なお、6月の結果に関しブルームバーグの事前予想では、総合ベースでは+0.5%、コアベースでは+0.4%と見込んでいる。
- 本邦では、21日(金)に6月全国消費者物価指数(CPI)が公表予定となっている。コアCPI(生鮮食品除く)に関し、前回5月の結果は+3.2%(前年比、以下同様)と4月の+3.4%から4か月ぶりに伸びが鈍化した。再生可能エネルギー発電促進賦課金の引き下げにより電気料金の押し下げに寄与した格好だ。ただし、食料(酒類を除く)およびエネルギーを除いたコアCPIは+4.3%と約42年ぶりの水準を更新したほか、生鮮食品を除く食料の価格は+9.2%と約48年ぶりの水準にまで達した。騰勢を極めた輸入物価が、やや遅れるかたちで価格に転嫁されていることが推察される。6月以降は電気料金引き上げの影響も顕在化することが見込まれ、日銀が四半期毎に更新する展望レポートにおいても、特に23年度の物価見通しの上方修正が見込まれる状況だ。なお、ブルームバーグの事前予想では、6月の結果を総合ベースでは+3.2%、コアベースでは+4.2%と見込んでいる。

	本 邦	海 外
7月14日(金)	・5月設備稼働率 ・5月鉱工業生産(確報)	・ユーロ圏5月貿易収支 ・米6月輸出/輸入物価指数 ・米7月ミシガン大学消費者マインド(速報)
17日(月)	—————	・米7月ニューヨーク連銀製造業景気指数
18日(火)	—————	・米6月小売売上高 ・米6月鉱工業生産 ・米7月NAHB住宅市場指数
19日(水)	—————	・ユーロ圏6月消費者物価指数(確報) ・米6月建設許可件数 ・米6月住宅着工件数
20日(木)	・6月貿易収支 ・6月工作機械受注(確報)	・独6月生産者物価指数 ・ユーロ圏5月ECB経常収支 ・ユーロ圏7月消費者信頼感(速報) ・米6月中古住宅販売件数
21日(金)	・6月全国消費者物価指数	—————

【当面の主要行事日程(2023年7月～)】

FOMC(7月25～26日、9月19～20日、10月31日～11月1日)

ECB政策理事会(7月27日、9月14日、10月26日)

日銀金融政策決定会合(7月27～28日、9月21～22日、10月30～31日)

ジャクソンホール経済シンポジウム(8月24～26日)

市場営業部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2023年7月13日	実効ベースで見た為替相場～最強「フラン」と最弱「円」～
2023年7月12日	円高の読み方～自律反発後にどこまで戻るか～
2023年7月11日	経常収支の正しい読み方～符号ではなくキャッシュフローを～
2023年7月10日	イノベーションボックス税制はBrain freezeの処方箋か
2023年7月7日	週末版(金利差拡大で円安が進まない背景～日本株下落とボジションの偏り～)
2023年7月6日	「投機の円売り」と「夏枯れ相場」～進むキャリー取引～
2023年7月5日	ユーロ圏6月消費者物価指数～雇用・賃金情勢の逼迫～
2023年7月3日	シミュレーション進む「ドル抜きの世界」～COFERの近況～
2023年6月30日	週末版
2023年6月29日	金融政策と通貨政策、動くのはどっちが先か
2023年6月27日	23年3月末時点の「資金循環統計」を受けて
2023年6月26日	「2005～07年の円安バブル」と現在の違い
2023年6月23日	週末版
2023年6月22日	ECBは利上げ停止後に何をするつもりか
2023年6月21日	「Brain freeze(思考停止)」と研究開発サービス赤字
2023年6月20日	「2030年までに対内直接投資残高100兆円」の現実味
2023年6月19日	日本、「監視リスト」除外の読み方～国力低下の象徴～
2023年6月16日	週末版(ECB政策理事会を終えて～we're not at destination～)
2023年6月15日	FOMCを終えて～追い詰められる円高見通しと年内利下げ～ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年5月分)
2023年6月14日	日銀はいつ動くのか～円安抑止策としてのYCC修正可否～
2023年6月13日	家計金融資産の「開放」は何を意味するか～骨太の方針～
2023年6月12日	FRBは他国・他中銀から影響を受けるのか？
2023年6月9日	週末版
2023年6月8日	本邦4月国際収支統計を受けて～「新しい赤字」の影～
2023年6月7日	ユーロ圏のインフレ期待について～6月会合プレビュー～
2023年6月6日	「弱い円」への諦観は日本人を動かすか？
2023年6月5日	米5月雇用統計を受けて～遥か遠くの年内利下げ～
2023年6月2日	週末版(コアベースでも鈍化し始めたユーロ圏インフレ率～ハト派転化には十分と言えず～)
2023年6月1日	FRB、6月利上げ見送りの受け止め方～円高到来か？～
2023年5月30日	ユーロ圏の賃金・物価情勢～賃金は峠、エネルギー環境は脆弱～
2023年5月26日	週末版(32年連続世界最大の対外純資産国の意味～過去最高を記録した直接投資比率～)
2023年5月24日	構造的に薄れるPPPを見る意味～「成熟した債権国」と共に～
2023年5月23日	「世界中が欲しがる財・サービス」は「高嶺の花」～「弱い円」の価値～
2023年5月22日	資産価格が上がっているのか、円が下がっているのか
2023年5月19日	週末版
2023年5月18日	1～3月期GDPを受けて～イベントアップ需要を阻む円安～
2023年5月17日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年4月分)
2023年5月16日	4月国内企業物価指数を受けて～変化率と水準の違い～
2023年5月15日	新しい外貨流出源～デジタル・コンサル・研究開発～
2023年5月12日	週末版(米連邦債務上限問題について～政府機関閉鎖は一時的な円高材料に～)
2023年5月11日	3月国際収支統計を受けて～インバウンドの功罪～
2023年5月9日	ECB政策理事会を終えて～持続する利上げ路線～
2023年5月8日	FOMCを終えて～利上げ停止でも円安持続という現実～
2023年5月2日	円相場の現在地～下がり続ける購買力、最強通貨はフランに～
2023年5月1日	植田体制初会合のレビューと円相場への影響
2023年4月28日	週末版
2023年4月26日	ユーロ/円相場、8年4か月ぶり高値の背景整理
2023年4月25日	日銀、初会合プレビュー～YCC撤廃確率は40%～
2023年4月24日	ECB政策理事会議事要旨と5月会合プレビュー
2023年4月21日	週末版(インバウンドの現状と展望～量、質ともに復調しつつあるインバウンド需要～)
2023年4月20日	本邦3月貿易収支～赤字は3か月で5兆円超え～
2023年4月18日	EU-ロシア貿易の構造変化～戦争の余波～
2023年4月17日	GFSRも重要性を訴える地経学的な思考 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年3月分)
2023年4月14日	週末版(FOMC議事要旨と米3月CPIを受けて～円安見直しへの影響はあるか？～)
2023年4月12日	変わる直接投資とスローバリゼーション(slowbalization)
2023年4月11日	植田会見、「直ちに修正することは無い」の真意
2023年4月10日	第一次所得収支の内情～戻ってくる円は半分程度か～
2023年4月7日	週末版(日銀金融政策決定会合プレビュー～初戦は様子見を予想～)
2023年4月6日	次の危機はCRE危機か？～ECBの警鐘～
2023年4月4日	日銀短観3月調査を受けて～深刻さ極まる人手不足～
2023年4月3日	ユーロ圏3月消費者物価指数(HICP)の読み方
2023年3月31日	週末版
2023年3月30日	第1四半期の総括と今後の展望～円高始まらず～
2023年3月28日	ひっ迫感が強まるユーロ圏の雇用・賃金情勢
2023年3月24日	週末版(鳴りを潜める「安全資産としての円」～投機の円買いは縮小中～)
2023年3月23日	FOMCを終えて～年内利下げは未だリスクシナリオ～
2023年3月22日	年初来の主要通貨を概観する～変わらない円安～
2023年3月17日	退路を断ったECB～自信の誇示を優先～
2023年3月16日	週末版
2023年3月16日	ECBは「世紀の失策」を繰り返すか～利上げの行方～
2023年3月15日	企業物価指数の現状と展望～残る円安の爪痕～
2023年3月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年2月分)
2023年3月13日	先陣を切るECB～アフターSVBの金融政策動向～
2023年3月13日	SVB破綻、ドル/円相場見直しへの影響
2023年3月10日	週末版(1周年を迎えた米利上げ局面～やはり遠い円高シナリオ～)
2023年3月8日	1月国際収支統計を受けて～今後の注目点～
2023年3月7日	FRBより長引くECBの利上げ～ホルツマン発言について～
2023年3月6日	日本における「基調的なインフレ率」の現状と展望
2023年3月3日	週末版(賃金インフレへの懸念強まるユーロ圏～コアは加速、政策理事会の争点は賃金に～)
2023年2月28日	ECBのバランスシート政策について～状況整理～
2023年2月27日	植田総裁候補の所信聴取を受けて
2023年2月24日	週末版
2023年2月21日	利上げ減速のイメージが湧かないユーロ圏
2023年2月20日	現実味増すインフレ長期化～円安シナリオの再起動～
2023年2月17日	週末版(本邦1月貿易統計を受けて～史上最大、再び～)
2023年2月15日	本邦10～12月期GDP～3年経ってもコロナ前～
2023年2月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年1月分)
2023年2月13日	日銀、植田新体制への所感～Q&A方式での整理～
2023年2月13日	日銀、植田新体制への所感～理想から現実へ～
2023年2月10日	週末版
2023年2月9日	ユーロ圏、インフレ期待の現状～pivotは支持されず～